ご当地グルメ創出による奄美の地魚消費拡大事業

大島支庁　林務水産課

【背景・目的】

世界自然遺産登録等により奄美群島への観光客の増加が期待されるが，奄美群島産水産物の認知度が低く，観光資源としての活用が十分とは言えない。そこで，観光資源となり得るご当地グルメ（「島ぃゆグルメ」）を創出し，奄美群島産水産物の消費拡大を図る。

【普及の内容・特徴】

1　「島ぃゆグルメフェスタ」の開催

⑴　期間

令和４年11月11日～12月18日（38日間）

⑵　参加店舗

群島内の飲食店　24店舗

⑶　参加飲食店の提供する「島ぃゆグルメ」の**定義**　（※「ぃゆ」：奄美で「魚」の意味）

「奄美群島産水産物のみを使用した魚介料理」

⑷　イベント告知

・群島内飲食店を対象にイベント説明会を開催（10/11）

・新聞広告（２回：参加店募集＋イベント期間中の告知），SNS発信，ラジオ出演（MBCラジオ，奄美FM），特設サイト開設，ポスター作成，参加店舗へののぼり旗設置　等

・イベント後，参加飲食店を対象に振返り会を開催（2/27）

2　アンケートの実施

⑴　実施期間

フェスタ開催期間中

⑵　対象

ア　参加店舗への来客

イ　奄美群島内飲食店（フェスタに参加していない店舗も回答可）

⑶　結果

ア　消費者：1,390件の回答

→回答者の割合　群島在住者42％，群島外在住者58％

→外食の際，奄美群島産の水産物が食べたいとの回答が98％

→奄美群島産水産物を食べたい理由として，島の周囲の美しい海で獲れた水産物だから，水産物が好きだから，との回答

→アンケート回答者の中から抽選で50名に水産加工品を贈呈

イ　飲食店：参加店舗18，不参加店舗６

→参加動機として「奄美群島産水産物をより多くの人に食べてもらう機会だと思った」との回答が最多

→不参加店舗の理由として「水揚げが少ない時期だったから」との回答が最多

→今後も島ぃゆを使ったメニューを出したい(既に出している)との店舗が94％

３　「関係各者検討会」の開催

⑴　開催回数：２回（R4.9.28，R5.3.13）

⑵　参加者：行政（県，市町村），漁協，流通業者，飲食業界，観光業界，商工会等

第１回：16団体18名　　第２回：８団体８名

⑶　内容

ア　第１回

→　ご当地グルメの定義について協議

→　ご当地グルメイベントの名称，開催時期について協議

イ　第２回

→　ご当地グルメイベント（＝島ぃゆグルメフェスタ）の開催報告及びアンケート結果の報告

→　令和５年度事業に向けた協議

【成果・活用】

・イベントやメディアを通じて，島内外の消費者に対し，奄美群島産水産物の魅力を効果的にＰＲすることができた。

・グルメフェスタに参加することにより奄美群島産の水産物を食べる(食べたいと思う)きっかけになった，知るきっかけになった，といった好意的な意見が多数寄せられたほか，こんな島ぃゆグルメが食べたいとの自由意見では様々な提案が寄せられ，奄美群島産水産物に対して消費者が想像以上に興味や好感を持っていることが確認された。

・今後も同様のイベントを継続し，「島ぃゆ」や「島ぃゆグルメ」といった用語や定義の定着を図り，「島ぃゆグルメ提供店舗」と消費者のマッチングを促進することにより，「島ぃゆ」の消費拡大を図り，漁業者の所得向上に繋げていく必要がある。

＜のぼり＞

＜ポスター＞

＜卓上POP＞

＜特設サイト＞

図　島ぃゆグルメフェスタで使用した販促グッズ等